

2015 年 11 月 2 日

国連責任投資原則(PRI)への署名の決定について

第一生命保険株式会社(社長:渡邊光一郎)は、国連の責任投資原則(Principles for Responsible Investment、以下「PRI」)に賛同し、署名することを決定しました。

PRIは、持続可能な社会を実現させるため、機関投資家に対し、E(Environment:環境)、S(Society:社会)、G(Governance:ガバナンス)を巡る課題を投資の意思決定プロセスに組み込むことを提唱する原則(イニシアティブ)です。

当社では、独自の「第一生命グループ企業行動原則」(DSR憲章)^(※)に基づき、ESGの視点を盛り込んだ投融資、スチュワードシップ・コードに則った投資先企業との対話など、ESG課題を踏まえた資産運用に取り組んでいます。今後、PRIの実践を通じて資産運用プロセスの改善・改良を図り、機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与していきます。

<PRIの6原則>

原則 1	私たちは、ESG 課題を投資分析と意思決定プロセスに組み込みます
原則 2	私たちは、活動的な株式保有者となり、株式の保有方針・保有慣習に ESG 課題を組み込みます
原則 3	私たちは、投資対象の主体に対し ESG 課題についての適切な情報開示を求めます
原則 4	私たちは、資産運用業界の中で、PRI が受け入れられ、実行されることを促進します
原則 5	私たちは、PRI の実践効果を高めるために協働します
原則 6	私たちは、PRI の実践に関する活動や進捗の状況を報告します

(※) 第一生命グループ企業行動原則(DSR 憲章) <http://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/management/vision.html>